

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

| | | | | | |
|------|-----|-----|------------|-----|-------|
| 学校番号 | 204 | 学校名 | 仙台市立上杉山中学校 | 校長名 | 吉田 知彦 |
|------|-----|-----|------------|-----|-------|

1 取組のタイトル, テーマ 「学愛活動」



2 取組の紹介

生徒会活動の1つであるJRC委員会と整備委員会が連携し、ボランティア生徒を募り、校地内を初め、学校周辺の歩道の落ち葉掃きを行いました。愛宕上杉通はイチョウの木が植えられており、毎年イチョウの葉が落ちると雨で滑って危ないこともあります。地域の方々のために、歩きやすい歩道を目指し活動しています。また、月に1回、JRC委員会が企画・運営し、地域清掃を全校生徒で行っています。地域のゴミを拾いながら登校することで、校内だけでなく地域全体の清掃に努めています。



その他にも、PTAの役員の方々を中心に「制服リサイクル」や生徒会執行部企画の「エコキャップ運動」などのエコに取り組んでいます。今年度初の取り組みであるエコキャップ運動では、回収したペットボトルキャップを回収業者に提供しました。回収されたペットボトルキャップは、世界の子供のためにワクチンとして提供されたり、クリーニング用ハンガーなどのプラスチック製品に生まれ変わったりします。

また、特別支援学級でも、エコ活動が行われています。今年度は、校庭で伐採された樹木を材料に土台を作り、給食に出る牛乳パックから作った和紙でカレンダー制作を行いました。カレンダーは、職員室や生徒の家庭で大切に使われています。



3 取組の成果

上杉山中学校では各種委員会を中心に、SDGsの目標達成に向けた取り組みを考え、全校生徒で取り組んでいます。自分たちを取り巻く環境の課題を生徒が自ら見つけ、改善策を考え実行する力が身に付いてきています。

目標の中でも特に、「すべての人に健康と福祉を」「住み続けられるまちづくりを」「つくる責任 つかう責任」の3つは、生徒たちによって取り組みやすいテーマとなっているようです。落ち葉掃きや地域清掃はボランティアでの活動となっていますが、各クラス高い参加率となっています。委員会の生徒が、活動を行う意義についてしっかりと説明してくれるため、本校の協働型学校目標の重点目標の1つである「誰かのために行動できる生徒」になることを目指して、生徒一人ひとりが目的意識をもって、意欲的に活動するようになりました。

これまで行ってきた活動に加え、新たな取り組みに挑戦しようとする姿勢も見られます。生徒たちが「やらされている」活動ではなく、前向きに楽しみながら取り組んでいるため、今後も、校内だけではなく地域の方々とともに持続可能な社会の実現のための取組を続けていきたいと思えます。